

## 12月2日 交通運輸・港湾部会が講演会を開催 京都舞鶴港の将来計画 — 三島府港湾局長から学ぶ

交通運輸・港湾部会（部会長：松本直樹舞鶴倉庫㈱取締役会長）は、12月2日赤れんが3号棟で「舞鶴港港湾計画の現状とこれからの課題について」をテーマに講演会を開催しました。

日本海側拠点港の京都舞鶴港は、取扱貨物量の増加を背景に、港湾整備の重要性がますます高まっています。このような中、今後の整備予定に関する全体計画については、部会員の中でも大変関心が高い内容であったことから、三島理京都府港湾局長を講師に実施したものです。

講演会には、松本部会長をはじめ19人が参加。三島局長には、「港湾計画は、通常10年から15年先の港湾の利用状況を見込んで立てられる」といった計画立案に関すること、国際ふ頭や臨港道路を含めた整備計画についてもイメージ図を交えながらお話しいただきました。

参加者からは、「港湾整備の効果は、府内や市内だけのものではない。舞鶴港は、まさに日本海側ゲートウェイであり、関西経済圏にも影響を与える」といった声が聞かれるなど、港の未来について理解を深めることができました。



Coworkation Village MAIZURUで開催（12月2日）

## 高浜発電所の再稼働 舞鶴市議会へ請願書を提出

舞鶴商工会議所は、高浜発電所の1、2号機の再稼働について、12月3日舞鶴市議会議長に「請願書」を提出しました。

高浜発電所の再稼働については、昨年11月に国が京都府と舞鶴市を訪れ、再稼働について理解を求めめるための説明が行われたり、高浜町議会では正式に再稼働を決定したりするなど、動きが具体化しつつあります。

舞鶴市内には、会員企業を中心に高浜発電所の関連

企業は数多くあり、働かれている市民も2,000人近くおられるのも事実です。また運転については、関係法令に基づいて、平成28（2016）年に認可され、新規制基準に即した対策工事についても1号機は昨年9月に完了。2号機も今年4月の完成予定となっています。このような状況を踏まえ、正副会頭を中心に対応を協議した結果、市議会12月定例会で「請願書」を提出したものです。

## 京都府に「商工施策要望」 12月9日綾城局長と面談

舞鶴商工会議所の最重要事業である行政への「商工施策要望」については、11月30日の舞鶴市に続き、12月9日には京都府への要望を行いました。

午後3時に瀬川参与、西山専務理事、日置常務理事が京都府中丹広域振興局を訪ね、綾城局長、和久

農林商工部長、山口参事と面談。52項目121件の要望内容について、その背景や理由など趣旨を説明するとともに、西脇隆俊京都府知事への伝達を依頼しました。

これを受けて綾城局長からは、「JMUについては重要課題として、国に対し要望する予定。他の項目についても西脇知事にしっかりと伝えます」と返答がありました。